

広 報

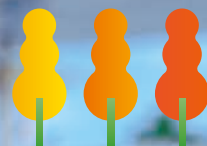
1

2026

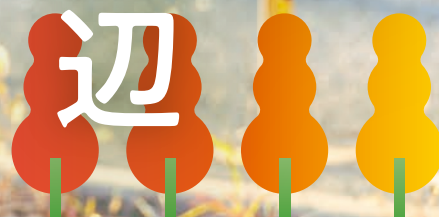
No.1026

かしがわ

届ける広報紙
加古川の心まで



これからの
加古川駅周辺



新春

特集

座談会

これからの 加古川駅周辺

市の重点施策の一つである
JR加古川駅周辺の再整備。
昨年開催したシンポジウムや
社会実験に参加した皆さんと一緒に、
駅周辺のまちづくりについて話しました。

市議会議長
中村亮太

令和7年7月に第71代
市議会議長に就任。駅
周辺の活性化などを議
論し、市に提案する取り
組みを進めている。

神戸芸術工科大学
建築・環境デザイン学科
長濱 伸貴 教授

加古川駅周辺まちづく
り検討会会長として加
古川駅周辺の再整備に
携わっている。

大塚 ゆうぎさん

6年前に他市から移住
し、4人の子を育ててい
る。親子サークルや買い
物で駅周辺を利用。雑貨
店としてイベントに出店
し、社会実験にも参加。

こはる
石井 心陽さん

市内高等学校2年生。
通学で駅周辺を利用し
ている。かわのまちマー
ケットなどの地域イベ
ントにボランティアで
参加。

NPO法人シミンズシーズ代表理事
阪口 努さん

寺家町商店街内で「かわ
のまちほいくえん」「かわ
のまちリビング」を運営。
毎月開催の「かわのまち
マーケット」をはじめ、イ
ベントを多数主催。

市長
岡田康裕

平成26年7月に市長に
就任し現在3期目。駅周
辺の再整備、河川敷で
のにぎわいづくりなど
に取り組む。

再整備に向けて

市長 昨年は権現総合公園や日岡
山公園の二コーススポーツゾーンが
オープンし、屋外で楽しめる場が
増えました。

にぎわいづくりでは、河川敷での
かわまちづくりと共にJR加古川
駅周辺の再整備を進めています。昨
年8月に基本方針を策定しまし
た。今年は令和9年度に向け基本
計画を仕上げていきます。

議長 駅前の再整備は大きな投資
が必要ですので、議会では年間を通
じた調査テーマとして、

議論を深めながら市民の代表とい
う立場で要望をしっかりと伝えて
いきます。

市長 昨年は駅前の公共空間を利
活用する社会実験をしました。イベ
ントを開催したり、ストリートファ
ニチャーを設置したりし、人の流れ
や集まり方、利用の状況などを確
かめました。

皆さんの駅周辺との関わり方や
イベントなどへの参加について、教
えてください。

大塚 加古川に移住してきたのが
コロナ禍の直前で、何もできないま
ま3、4年が過ぎやっと自由になっ
てきたところで、家族でハンドメイ
ドショップを立ち上げました。阪口
さんがされている「かわの
まちマーケット」にも出店
しています。駅周辺は商業
施設も多く、よく利用して
います。

石井 私は高砂市在住で、
自転車駅周辺を通りな
がら高校へ通っています。
かわのまちマーケットにボ
ランティアで参加し、ス
タッフ・運営メンバーとし
て出店者やスタッフの皆さ
んと交流し、いろいろな体

験をさせていただいています。

阪口 僕は「みんなでいるんなこと
をつくっていく」というのをテーマ
に活動しています。イベントを企画
していて感じますが、駅前を使いた
い人やプレーヤー(運営者・出演者
など)がとても多いんですよ。

市長 さまざまなイベントが盛り
上がっていますね。駅前や河川敷の
社会実験を通して、市民の皆さんの
中に多くのプレーヤーがいらっ
しゃることが分かりました。

阪口 「何かをやりたい人この指止
まれ！」と声を掛けたらすぐに集ま
るのが、加古川の人の魅力の一つか
なと思います。

長濱 阪口さんのように、最初に
声を上げてまちづくりをリードす
る人材が重要です。皆さ
ん何かしたい気持ち
があるんですね。で
も「こんなことをして
もいいのかな」という
ためらいもあるんで
す。社会実験は「ここ
までならできる」とい
うことを確かめる目
的もあります。

寄り道できるまちで 思い出をつくる

長濱 私の大学でも加古川出身の
学生が多いんですが、大阪や神戸
とは違う、加古川のキャラクター
を感じます。すごく元気で、でも
ちゃんと真面目にやる二面性があ
ります。「かこがわっこ」でもいい
でしょうか。

でも潜在的に少し遠慮がちなの
でしょう。社会実験は「かこがわっ
こ」たちの背中を押すにはとてもい
いタイミングだったと思います。彼
らが笑って自由に活動している、そ
んな実験になったのではないで
しょうか。

社会実験 ストリートファニチャーの設置

くつろぎ空間をつくる目的で、JR加
古川駅南広場やベルデモール商店街
にベンチやテーブルなどを設置。木材
は地元の工務店が協力し、ベンチ作り
ワークショップを行うなど製作過程に
も人々が関わる仕組みを考えました。



Check! JR加古川駅周辺の再整備

JR加古川駅周辺をより使いやすく便利な場所にし、さ
まざまな世代の人が集まって過ごせるよう、市では再整
備に向けて準備を進めています。カピル21ビルやサンラ
イズ加古川ビルなどを、商業施設や図書館、子育てプラ
ザ、文化ホールなどの複合施設に
整備します。



くわしくは
こちら

12月号でも
特集しています。



くわしくは
こちら



大塚 初めてストリートファニチャーが置かれた時、学校帰りに集まって楽しそうにしている学生たちを見ました。私も保育園帰りにママさんたちと集まって話をする時間ができました。交流の場が一つ増え、生活に潤いが生まれました。

石井 ボランティアをして感じたのは、普段は高校生同士や保護者同士のようなじみコミュニティの中でしか話さないけれど、さまざま

な世代が交わる
と場が活性化す
るということで
した。

議長 石井さん
や大塚さんのよ
うに市民の皆さ
んが生き生きと
活動している様子を見てみると、
多くの人が立ち寄りたり関わった
りできるような場所の必要性を
感じます。



できそう、やって
みたい」と思う人
たちが増え、連鎖
していけば「ここ
に来れば何かし
ている」というに
ぎやかな空間に
なっていくと感じ
ています。



かこがわやるDAY!!



駅前みちあそび

社会実験 公共空間の利活用

通常は一般利用が制限されている駅周辺の公共空間で、飲食店が並ぶイベントや子どもが参加できるイベントなどを開催。公共空間を活用することで生まれる可能性や課題などを把握するため、令和4年度から行っている。

長濱 近年よくいわれる「ウォークアブル」で一番重要なのは「寄り道できること」です。寄り道はぜいたくな時間なんですよ。寄り道できる場所をどうやって作り出すか。これから加古川で作ろうとしているモデルは、現代の再開発の一つの回答になる可能性はあるなと思います。

阪口 僕は「昔遊び」や「読み聞かせ」など、小規模のイベントを行っていて、こどもたちにも人気なんです。イベントを見て「私たちに

石井 私は商店街を自転車です通っていますが、人通りが増えてにぎやかになったら、自転車を押して歩くと思います。歩きでしか見えない景色があるし、その時に「おはよう」と声をかけてくれる人が、同世代の友だちだけじゃなくなるのかなって考えるとわくわくします。

市長 学生がただ通りすぎるのではなく、寄り道をしてほしいに残留するような体験をしてほしいですね。加古川に住んでいる実感ってそういうことなのかもしれないですね。

加古川をどんな まちにしたいか

長濱 これから基本計画を考える上で、市民の皆さんの参加も含め

大塚 そうですよ。加古川の何が好きなか改めて考えたら、住んでいる人たちだと気付きました。それで、いろんなイベントに参加したら人とのつながりが一気に増えたんです。みんなで手をつないで、みんなで子育てしていけるなっ

て感じています。これからいろいろなこと挑戦したいです。

阪口 僕はプロセスがすごく大事だと思っているので、コミュニケーションを取りながら駅周辺をつ

くっていくと思います。

再整備が終わった後も、どんな変化していく。変化が起こるよう

に人が育って、駅周辺が使われていったらいいなと思います。

石井 私は社会実験イベントの「かこがわやるDAY!!」とか「駅前みちあそび」などには参加者として行ったのですが、歩いていたらイベントに参加する前までは知ら

なかった人があいつしてくるんです。このつながりの深さが本当に大事だなと思います。

SNSって顔が見えないままつながっちゃうじゃないですか。そんな時代だからこそ、イベントに参加することで知っている顔が増え、つ

ながることをもっとみんなに体感

してほしいです。

市長 基本方針の中でも、「かこがわらしいひとの顔、ひとのつながりがみえるまち」をコンセプトとして掲げています。

長濱 これからは、プロセスも含めて、市民の皆さんと行政が一緒に、オリジナルの物語を作らないといけません。買い物などの日常に加え季節ごとのにぎわいなども駅前にあると、とてもまちらしくなります。加古川の人



たちは呼びかけたら集まってくれるし、社会実験をすると反応してくれるし、加古川らしい駅前をつくれると思います。

議長 議会は皆さんと市をつなぐ役割を担っています。まちづくりを行う上で日頃から皆さんの声を聞き市へ要望を伝えるなど、皆さんを応援していきます。次の世代にどんなまちを残せるかを第一に考え、多くの人が活躍できることも念頭に置きながら、先を見据えて取り組んでいきます。

市長 皆さんとお話すればするほど、目指すべき方向性がクリアになっていきます。市ではハード面を整えていきますが、市民の皆さんが主役になって思い出をつくり、その先に愛郷心が育まれる場所になるよう取り組んでいきます。

INFORMATION

公共空間を活用した駅周辺イベント

パフォーマンスや飲食物・雑貨の販売などを行っています。



くわしくは
こちら

Decidimで意見・アイデアを募集中!

オンライン上でJR加古川駅周辺への意見を投稿できます。

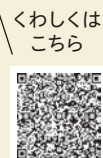


くわしくは
こちら

加古川駅周辺 まちづくりワークショップ

将来のJR加古川駅前での過ごし方や広場空間、施設構成など過去3回分をまとめ、発表します。

- 1月31日(土)午後2時～4時
- 場まちづくりセンター 定30人(先着)
- 1月27日までに市ホームページ
- 加古川駅周辺再整備推進課
- 427・3153



くわしくは
こちら

て議論を続けてほしいですね。

議長 議会にはさまざまな立場の人から「駅前にこういう機能が欲しい」という要望が届きます。世代を問わず多くの人が利用できる空間になるように、市と一緒に考えていきます。

長濱 より良いまちを目指すのは、私たちのためというよりこどもたちのためなんですよね。

この先、加古川で思い出をつくっていくこともたちにとって何が一番いいのかを、十分に議論していくのが大人の責任ですよね。

大塚 私が住んでいる地域はおじいちゃんおばあちゃんが多いのですが、すごく心が温かい方たちばかりです。コロナ禍の時もお手玉を貸してくれたり、一緒にこどもの面倒をみてくれたりしました。

長濱 加古川の人たちって、まだいい意味で昭和なんです。それが資産のような気がしていますね。

